

第4回豊川市総合計画審議会（H27.6.22）における主な意見等及び対応状況（H27.8.5まとめ）

※ 会議で回答済の意見等については記載していません。

基本計画

↓平成27年5月29日現在の資料2「基本計画（案）」の該当ページです。

番号	ページ	意見等	対応状況
〔全体〕			
1	—	評価時期よりも数値の時期の文字が大きい方がいい。	ご意見を踏まえ、評価時期の文字を小さくしました。
2	—	部課を越えて検討してほしい。	関連する部課の連携は重要であるため、今後の取組みにおいても一層連携を強化していきます。
3	—	マイナンバー制度をどう活用するかも含めて考えてほしい。	マイナンバー制度を有効に活用し、市民サービスの向上や事務の効率化等をめざしていきます。

■政策1【安全・安心】

番号	ページ	意見等	対応状況
〔①交通安全対策の強化〕			
4	22	認知症の方が免許の更新ができなくなる。警察と一緒に免許の返納を促すような施策をきちっとやらないと、交通事故は減っていかないと思う。 1, 400件程度のところをずっと目標値にしているのは、減らす気がないということか。流入人口がよっぽど増えるけれども、同じ数を維持するということか。減らす気があったら、本当に真剣に考えていただいて、高齢者から免許返納を受ける場合は、その分、市内のバスを充実させるという施策も実施し、本当に減らすという覚悟を決めてほしい。	ご意見を踏まえ、交通事故件数の内容について子どもと高齢者の事故件数を追加するとともに、目標値を修正しました。
5	22	高齢者は、免許証を返納すると、交通手段が歩く以外にない。そういうことと並行して、老人の足をどうするかが問題になっている。交通安全以外の問題も出てくると思うが、その両方を併せて計画してほしい。	高齢者の交通安全対策は重要なため、今後の取組みの参考とさせていただきます。
6	22	ほかの施策に比べると、現状の分析がなさすぎる。警察署との線引きをはっきりさせて、もう少し分析をしたほうがいい。 高齢者の事故の犠牲者の率が非常に高い。それも免許を持っていない方の割合が高い。具体的に分析すると、やるべきことが出てくると思う。	ご意見を踏まえ、交通事故件数の内容について子どもと高齢者の事故件数を追加するとともに、目標値を修正しました。
7	22	（後日意見） 「⑤交通安全施設の整備」は良いと思う。その結果で、その次は幹線道路から細い通りの対策へ移っていくのか。10年間の対策として、すべて完了するのか。	交通安全施設の整備については、危険箇所や要望箇所を選定し、優先順位をつけて実施しています。対策は10年間で完了することはなく、道路の維持管理状態に応じて継続的にを行います。
8	22	（後日意見） 安全対策は、警察と強化する取組みは記載しないのか。	主な手段の③警察とのネットワークの強化において対応していきます。

〔②防犯対策の強化〕			
9	24	(後日意見) 個人情報保護の観点から、サイバーテロ対策はあるのか。	市民の個人情報を始め、重要な情報資産を多く保有している認識の下、これらの情報資産をサイバー攻撃を始めとする様々な脅威から守るため「豊川市情報セキュリティポリシー」を定めています。この情報セキュリティポリシーに基づき、情報セキュリティ対策を行っています。
〔③防災対策の推進〕			
10	26	大規模地震への備えは本当に大きな課題である。どのようなシミュレートをしているのか。特に、弱者対策はできているのか。	南海トラフで繰り返し発生している地震・津波のうちで過去に実際に発生した最大モデルを想定し、対策計画を策定しています。 要援護者に対しては、自主防災会等による地域ぐるみの支援を実施しています。 (例) ・ 平常時における声掛け、相談、防災訓練の参加支援等 ・ 災害時における避難誘導、救助活動、安否確認等
11	26	医療、健康福祉に絡んでくるが、防災総合保健センターを整備してほしい。災害時に災害対策本部をすぐに立ち上げられるよう、防災関係部署、健康福祉関係部署、老朽化した消防署、保健所、警察署も含めて同じ敷地内に建ててほしい。	関係機関の連携と拠点機能の強化は重要ですが、他の施設との関係も考慮し、今後の検討とさせていただきます。
12	26	防災ボランティアコーディネーターの数ばかり増えている。大規模地震が本当に起きたときに、こういった動きをしていくのかということまで打ち出してほしい。養成しても活用できなければ意味がない。	災害発生時に状況やニーズを把握し、全国から集まるボランティアをコーディネートする防災ボランティアコーディネーターについては、養成だけでなく、毎年フォローアップ研修を行うことで、より実践的な活動が出来るようにしていきます。
13	26	6割を越える市民が満足していない防災対策では、「自分の身は自分で守るんだ」ということをもっと強く打ち出していく必要がある。災害時要援護者シートやボランティアコーディネーターは、どう活用するかということまで踏み込んで計画を立ててほしい。	有事の際の実効性の高い取組みは重要であるため、今後の取組みの参考とさせていただきます。
14	26	防災ボランティアコーディネーターの質の向上は重要である。よそで災害があった時に、派遣、被災した人に対して支援して、認定をもらうというのはいいこと。コーディネーター同士の顔が見える関係や活動支援は大切である。	有事の際の実効性の高い取組みは重要であるため、今後の取組みの参考とさせていただきます。
15	26	(後日意見) 目標指標「とよかわ安心メール登録者数」の目標値について、件数ではなく、パーセンテージの方が分かりやすいのではないかと。	携帯電話等の登録者数の把握が困難であることや一人で携帯電話とパソコンと両方に登録している方もいるため、割合による目標値の設定がそぐわないことから、現案どおりとさせていただきます。
16	26	(後日意見) 登録促進として、携帯電話購入時に店舗でテスト登録してもらうなどしたらどうか。	登録促進の工夫は重要であるため、今後の取組みの参考とさせていただきます。

17	26	(後日意見) 防災対策備蓄品等の整備の目標値について、9,800人×3日分で足りるのか。数値も変わっていないが。	県が平成26年5月に公表した「平成23年度～平成25年度愛知県東海地震・東南海地震・南海地震等被害予測調査」に基づき、平成27年1月に本市が作成した「小学校区別被害予測調査結果」の過去地震最大モデルの地震発生1日後の避難者数を9,800人としており、その3日分の備蓄量です。その備蓄品を適切に更新し、備蓄量を保持することで有事に備えています。 今回、目標値の趣旨が伝わるように目標指標の内容を追記しました。
18	26	(後日意見) 大人と子どもの目線は異なるため、小学校区エリアなど、サイズが小さい防災マップを作成できないか。	効果的に防災情報を発信することは重要であるため、今後の取り組みの参考とさせていただきます。
〔⑤環境保全と生活環境の向上〕			
19	30	「④衛生環境対策の推進」について、市営墓地の運営や斎場会館の管理と書いてあるが、衛生環境対策と言葉の使い方としてピンとこない。墓地、斎場のことであればダイレクトに表現したほうがいい。	ご意見を踏まえ、手段と事業例の結びつきがより明確に捉えられるように、「③生活環境の保全」と「④衛生環境対策の推進」の両手段を「③生活衛生環境の保全」として統合し、事業例に「し尿処理施設の適正管理」を追記しました。
〔⑥ごみの適正処理の推進〕			
20	32	ごみ発生を抑えて資源化も増やすという考えからいうと、一人当たりのごみ排出量が70gしか減らないという目標は低いので、少なくとも、資源化を増やすのだったら、131gよりも高い目標設定をしないと整合しない。	ご指摘の内容について、確認をしたところ「市民1人1日当たり資源化量」は「市民1人1日当たりごみ排出量」の内数であったことから、「ごみ排出量」の内数として表記を改めました。
21	31 32	「⑤不法投棄の防止」の数値目標について、パトロールの回数で不法投棄をされたかどうかを見るのか。パトロールの回数を指標とするのか。	ご意見を踏まえ、目標指標を不法投棄の認知件数に変更しました。
22	32	(後日意見) 将来的に東三河での焼却をイメージしているのか。	豊川市・蒲郡市・新城市・設楽町・東栄町・豊根村・長野県根羽村で構成される東三河広域ブロック会議により東三河ごみ焼却施設広域化計画を策定しており、段階的に統合・新設し、最終的に焼却施設を1施設とすることを目指しています。

〔⑧水道水の安定供給〕			
23	36	「⑧将来目標 安全でおいしい水が、安定して供給されているまち」としているため、おいしい水を実現するような取組みを明記してはどうか。おいしさを満足させるようなことというのは、第5次、第6次ともにある。	安全でおいしい水を提供することは重要なため、今後の参考とさせていただきます。

■政策2【健康・福祉】			
番号	ページ	意見等	対応状況
〔①健康づくりの推進〕			
24	39	「定期的な健康診断を受け、健康管理に努めている」市民の割合は、社会保険の人も含まれる。社会保険と公務員共済の人はほとんど100%健診を受けているが、社会保険の家族と、国民健康保険の本人と家族の受診率がすごく低い。市で頑張れるのは国保の部分だと思う。社会保険と共済等で100%受けている人を含む目標値45%という数字では、その状況が見えず、現実を見てほしい。市が頑張れるのは国保の方の健診率を高めることにしないと、オブラートに包んだデータで目標管理をすることとなる。目標値50%ということは、ほとんど何もしないということになるので、よほどのことをやらないと、この目標管理はできないと思う。	市が実施する健診には国民健康保険の被保険者以外を対象としている健診もあり、また、年齢や加入保険の種別に関わらず、多くの市民に健康管理への意識を高めていただくための取組みを進めていることから、現案のとおりとさせていただきます。
25	40	「②健康づくり意識の啓発」の目標指標は、意志の有無ではなく、健康になったかどうかの数字を計測するということを考えてほしい。	健康づくりの推進による効果測定は重要と捉えています。「健康」をどのように測定していくかは、今後の検討課題とさせていただきます。
26	40	韓国で問題となっているMERSなどの感染症の対策が出ていない。災害、環境、防災、医療などを含むどこかの施策の中に、そういうリスク管理を入れ込むべきではないか。	ご意見を踏まえ、手段として「感染症予防の推進」と事業例を追記しました。
〔②地域医療体制の充実〕			
27	41 42	国、県では、東三河南部医療圏と新城以北の医療圏を合併して一つの医療圏にするという話がある。地域医療圏構想の中で、将来的に病院はどうあるべきかを、今年度から話し合うことが求められており、東三河における病院の機能分担が始まる。今、急性期への対応をしているから、ずっと急性期の病院ということではなく、国はなるべくお金がかかる急性期は限定し、長期療養にも耐えられるようにしなさいと言っている。 都会では将来困るので、田舎に引っ越しなさいと言いながら、日本じゅうのベッド数を減らす施策を次々と打ってきている。それに合わせ、本当の機能分担をしっかり他市と話し合っていないと対応できない。そういったものをぜひ、計画に入れていかないと地域医療体制の充実の実現できない。	ご意見のとおり、地域医療体制は本市単独ではなく、広域的な医療圏における連携が重要となっています。 政策6【地域・行政】の施策⑦「健全で持続可能な行財政運営と広域連携の推進」で位置づける主な手段「②広域連携の推進」の取組みとして、個別の広域的課題へも対応していきます。
28	42	「④在宅医療・介護の相談支援と普及啓発」の目標指標が相談件数だが、在宅医療そのものの件数を載せたほうがよい。相談件数も一つの指数にはなと思うが、相談が増えればよいということではない。 在宅医療のモデル地域になっていることも含めて、地域医療体制の連携はできていると思うが、そういうのも含めて、第6次の一つの目玉ではないか。定住、交流を目指すという中で、住みやすさにつながると思う。	相談件数は、患者や要介護者等への直接支援や在宅医療・介護の連携支援の度合いを見る目標指標であることから、現案どおりとさせていただきます。 ご意見のとおり、在宅医療・介護の連携体制の構築は、住みやすさの向上にとって重要であることから、一層の取組みを進めていきます。

29	41 42	(後日意見) 担当部課が多いが、早い連絡や対応は可能か。	施策の効果を高めるため、関係課の連携をいっそう強化します。
〔③子育て支援の推進〕			
30	44	「⑥母子健康診査の充実」について、目標指標を「3歳児検診の際のアンケートで、子育てを前向きに捉えている」としているが、既に90%あるものを目標としても無意味であるため、新しい指標がほしい。 市内の合計特殊出生率を上げるといふ目標にすれば、何かなんでも上げるといふ目標になる。子どもを生み育てる環境の満足度、46.7%が、10年経って60%では頑張りが足りない。もっと目標を高くすると、総合的に頑張らないと合計特殊出生率は上がらないから、豊川市が頑張るぞと見えてくる。	「⑥母子健康診査の充実」、「⑦母と子の育ちへの支援」では、個々のケースへの対応も重視しており、「子育てを前向き」に捉えていない一部の親への働きかけの成果を目標とする考えから、現案のとおりとさせていただきます。
31	44	保育園の整備は、「保育園の定員が増えているのを本当に実感しているか、今は断らないか」という話をする、4月からは未満児が入れるが、その後は入れないという話がある。中心部はどこもいっぱいという話も聞く。子育て支援を頑張って充実するというときに、これからは教室を増やすなり、新しくするとかいうことも考える必要がある。また、施設が老朽化施設などの環境整備が必要である。	子育て支援の環境整備は重要なため、今後の取組みの参考とさせていただきます。
32	44	「子どもを生み育てる環境」の重要度は高いため、目標値は47%から60%というよりも、もっと上げたほうがよい。	第5次の計画期間中は、ほぼ横ばいでしたが、第6次では、第5次で目標値とし、達成できなかった60%を引き続きめざすこととし、現案のとおりとさせていただきます。
33	44	発達障害の方は、「豊橋市こども発達センター」を利用しているが、なかなか受診できない。1,700人子どもが生まれる中で、お母さんが「自分の子は発達障害ではないか」という不安を持っているお母さんが6~8%いる。豊川市だと100人ぐらいか。それに加え、経過を見るうちに発達障害かなと言われるような人が出てくるが、各地域で100人診るといふ体制は今、東三河になく、ほとんどの方は専門医を受診できない状況にある。今後も豊川市として、「豊橋市こども発達センター」にお願いし続けていくのか、独自で発達支援センターをつくっていくのかは、総合計画の話の中でとり入れてほしい。	子どもの発達支援は重要であるため、今後の取組みの参考とさせていただきます。
34	44	第5次と比べると、合計特殊出生率が無いので、ぜひ、入れてほしい。 第5次よりも、子育て支援の具体的な取組みがたくさん並べてある。子育て支援の相手は親であるが、他市から見た時に明確で分かりやすい情報発信として、「豊川市はこういうことが違う」と数字をしっかりと出した方がよい。満足度というよりも、たとえば「保育所入所の待ちがどれだけか」とか、他市の人から見てキャッチーなわかりやすいものを、もっと出せるとよい。目標数値は、満足度で示していてもいい。	ご意見を踏まえ、目標指標に合計特殊出生率を加えました。 また、分かりやすい情報発信に関するご意見については、今後における取組みの参考とさせていただきます。

35	44	子ども権利条約などでは、子どもが主役とする原則があるが、市民意識調査は大人が対象で、子どもの意見は反映されない。子どもの問題なのに、子どもの意見が反映されないということは、権利条約からいうと、原則について問題があるため、意識調査に子どもの意見を盛り込むことが可能かどうか検討してほしい。	市民意識調査では、子どもを対象していませんが、政策4【教育・文化】の施策「①学校教育の推進」では、児童・生徒を対象とするアンケート調査結果を用いています。
36	43 44	(後日意見) 担当部課が多いが、早い連絡や対応は可能か。	施策の効果を高めるため、関係課の連携をいっそう強化します。
〔④高齢者福祉の推進〕			
37	46	「②生きがいある環境の提供」で「高齢者の生きがいと健康づくりの推進事業の実施」とあるが、交通安全、防災など、これからは高齢者の就労支援やボランティア活動、社会参加の促進をここで担ってほしい。豊川市としての特色ある施策ということで、いち早く出したほうがいい。 老人クラブを支援いただいているが、加入促進はできないか、検討してほしい。	ご意見を踏まえ、就労支援の一つである「シルバー人材センターへの支援」を加えました。 老人クラブへの加入促進については、今後の取組みにおいて一層推進していきます。
38	46	「②生きがいある環境の提供」について、介護高齢課だけでなく、それぞれの施策に対して横の事業もやっている。たとえば、生涯学習課でやっている取組みもあるため、もう少し考えてやってほしい。	ご意見を踏まえ、手段に「③生涯学習事業の充実」を、事業例に「まちづくり出前講座の活用促進」を加えました。
39	46	以前、同じ規模の2つのまちについて、片方は大企業があって税制が裕福で福祉が充実しており、片方は山村の過疎地域であったが、20年間追跡調査をしたところ、過疎地の方が長生きして、自立期間が長く、要介護期間が短かったとの話を聞いた。ということは高齢者にも働いていただくほうがよいとも言える。ぜひ、高齢者に働いていただくことを中心に置いていただき、ぜひ民活でやってほしい。	ご意見を踏まえ、就労支援の一つである「シルバー人材センターへの支援」を加えました。
40	46	児童館は各地域に設置されている施設なので、地域の高齢者の人たちがいきいきと生きられる場ともなる。防犯パトロールでも心ある皆さんが、今でも頑張っている。ぜひ、こういうところで、運営にかかわるよう、子ども、高齢者と区切らずに、何かいい施策を打ち出してほしい。	高齢者の活躍の場を広げることは重要なため、今後の取組みの参考とさせていただきます。
41	46	なんとなく高齢者の人たちに頑張れと言っているような施策になっている。第5次と同じ内容で、目標指標も、自立高齢者の割合と、60歳以上で生涯学習活動をしている人の割合となっている。もう少し高齢者に配慮し、満足度のようなものを入れた方がよい。単なる数合わせで増えたというものではないので、高齢者の方に配慮をした方がよい。活動している人の割合などはあるが、もう少し付け加えた方がいい。 高齢者に働いてほしいという話があったが、それ以外には、運動や健康促進ということが載っていない。高齢者の支援について運動、スポーツ支援、体を動かすということを入れたほうがいい。	目標指標については、より具体的な内容を捉えたいとの考えから、現案のとおりとさせていただきます。 ご意見を踏まえ、事業例の「高齢者の生きがいと健康づくり推進事業の実施」の具体的な取組みである「高齢者大学、三世交代交流事業、各種スポーツ大会実施への支援」との記述に変更しました。
〔⑤障害者福祉の推進〕			
42	48	「障害のある市民が地域や家庭で自立し、充実した生活を営んでいるまち」という将来目標に対し、目標値が気になる。障害者の相談件数が年々増え、平成36年に8,764件に達成することで、将来目標が実現しているか。相談件数が増えれば充実した生活ができるのか。相談しなくても良いようになっていくほうがいいのか。何か違った指標の出し方はないものかと思う。	障害者への支援の度合いを見る指標であることから、現案のとおりとさせていただきます。

43	48	第5次では、「バリアフリーマップの作成」があった。バリアフリーやユニバーサル・デザインの普及によってサービスを受けなくてもいいようにすることのほ うが、障害者差別を解消することになるはずである。バ リアフリーに関して、今後10年間、全く想定が見えな いとしたらよくない。	バリアフリーマップについ ては、第5次の計画期間中に 作成を完了し、現在は運用の 中で内容を更新している状況 であるため、第6次では割愛 したことから、現案のとおり とさせていただきます。
44	47	(後日意見) 第5次で記載する「障害者法定雇用率達成企業の割 合」は、第6次でも入れた方がよいのでは。	障害者法定雇用率は重要な 数値と捉えていますが、法定 雇用率が法改正で変更される 可能性があることから、第6 次では目標指標としないこと としました。
45	47	(後日意見) 障害福祉サービスなどの利用率を記載するなら、サー ビスを利用する側の満足度などを調べ、10年後の目標 を設定してはどうか。	サービス利用者の満足度を 高めることは重要と捉えてい ますが、ここでは障害者への 支援の度合いを見る指標とし て利用率を設定していること から、現案どおりとさせてい たいただきます。
46	47	(後日意見) 近年、盛んに国の政策などで打ちだされている格差社 会の問題に関して強調するため、将来目標を「障害のあ る市民が地域や家庭で自立し、健常者との差異のない充 実した生活を営んでいるまち」としてはどうか。	障害のない市民と差異のな いまちづくりは重要と捉えて いますが、「充実した生活」 という記述の中に同様の意味 合いを込めていることから、 現案どおりとさせていただきます。
47	47	(後日意見) 目標数値で「障害福祉サービス等の利用率」が10年 後の平成37年までに1%しか増えないというのは考え にくい。重度障害者施設の充実や医療の高度化などに よる増加すると思う。	近年における手帳所持者数 とサービス決定者の件数の伸 び率を元に、今後の数値を積 算したものです。
〔⑥生活支援の充実〕			
48	49 50	現況や目標指標とする「生活困窮者からの面接相談件 数」について、直接的にこの目標を達成しようとする と、生活保護を受けさせないことになってしまいかね ず、指標が適切か迷う。	目標指標とする相談件数 は、生活困窮者への支援の度 合いを見る指標のため、現案 のとおりとさせていただきます。
49	49 50	生活保護について、「自分の家があるから生活保護を 受けられなくて、所得がほとんどない」という人が要 介護状態になる人がたくさんいる。商店主で店舗兼住宅の 2階に住んでいると、介護サービスを受けられなかつた り、介護サービスに払うお金がないという場合もある。 これについては、何らかの施策を組まないと、使えない 人が出てくる。	生活困窮者は、様々な生活 課題を抱えるケースが多いこ とから、今後の取組みにおい ては、対象者の状況に合わせ た的確な相談支援を実施して いきます。
50	50	目標設定が相談件数であり、もっと取組みがあって良 いのではないか。	ご意見を踏まえ、具体的な 取組みとして「住居確保給付 金の支給」を追記しました。
51	50	生活困窮者自立支援法ができた背景は、ニート、引き こもりを支援してきたNPOのアイデアが盛り込まれて いる。生活保護を簡単に受けて、それをセーフティネッ トとしながら生活保護から脱出していくのが論点であ った。生活保護に至らなかったといわれるのは、その支援 をする人たちから見ると、非常に遅れた取り組みと捉え られる。生活保護を受けていても、就労が可能な人をど うやって自立につなげるかという目標を設定をしないと、 現状に沿った支援にはならない。	この施策における相談支援 には、法定受託事務である生 活保護受給者からの相談業務 を含んでいないことから、用 語解説に生活困窮者や相談支 援の説明を追記しました。